

地方創生とは

平成26年11月、国は人口減少に歯止めをかけるとともに、それぞれの地域で住みよい環境を維持し、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくため、「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」および「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

佐渡市においても、平成16年の合併当時約70,000人あった人口が、現在では58,889人（平成27年7月末現在）と毎年約1,000人ずつ減少しており、また、国立社会保障・人口問題研究所による推計では、2060年（平成72年）の本市の人口は25,000人程度になるとされており、このままでは本市の活力が減退する恐れがあります。➔

基本目標①

島の資源を活かし、元気な産業と安定した雇用を創出する。

数値目標	主なKPI	主な取組の内容
<ul style="list-style-type: none"> 新規就農経営体数： 平成31年度における 新規就農経営体数 34経営体/年 新規起業、第二創業及び 企業誘致した数： 5年間で50件増加 	<ul style="list-style-type: none"> コシヒカリの1等米比率： 66%（平成22～平成26年 度平均値） →90%以上（平成31年度） 新たに雇用を創出する農商工 連携又は6次産業化を行う企 業・団体数： 5件（累計）（平成31年度） 中学生の職場体験日数： 2.2日/年（平成26年度） →5日/年（平成31年度） 	<ul style="list-style-type: none"> 「新規就農里親制度」等の新規就農者確保 に向けた取組の充実 佐渡米の品質向上（色彩選別機等機械導入 補助等）や高付加価値化に関する支援 「佐渡版戸別所得補償制度」等による60 歳未満農業者等への支援 プロモーション活動やICTの利活用によ る販路の拡大 戦略産品等の海上輸送費補助と販売促進 佐渡産水産物のブランド化と販売力の強化 起業、第二創業及び企業誘致の促進 農商工連携と6次産業化の促進

※KPIとは、目標の達成度合いを計る指標のことです。

基本目標③

生活しやすい環境を整え、若者の出会いから就業までを島全体で応援する。

数値目標	主なKPI	主な取組の内容
<ul style="list-style-type: none"> 合計特殊出生率： 5年後に0.20ポイント 増加 社会減数： 5年後に50%縮小 	<ul style="list-style-type: none"> 市が実施する出会いイベント等 によるカップル成立数： 11組/年（平成26年度） →50組/年（平成31年度） 出生数： 344人/年（平成25年度） →440人/年（平成31年度） 若者定住支援数： 25人/年（平成26年度） →80人/年（平成31年度） 	<ul style="list-style-type: none"> 独身男女の出会いの場の創出 保育料2人目無料化の拡充 妊娠から出産・子育て・就労までの総合相談 サポート キャリア教育の推進 「豊かな心を育む教育」の推進 ICTを活用した教育の推進 小学校から高校までの教育費等の負担軽減方 策の検討 移住・定住に関する効果的なPR・情報提供 「移住コンシェルジュ制度」等による誘導策の 展開 移住体験制度を始めとした受入体制の整備 「次世代の高校教育」に向けた連携等の取組